

1968~1969

大津ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1968. 12. 11.

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを拡げていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより権威あらしめること。
3. 各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によって国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...

- 1. ...
- 2. ...
- 3. ...
- 4. ...
- 5. ...
- 6. ...
- 7. ...
- 8. ...

...
 ...

...
 ...

1968 - 69年度目標

参加し

敢行しよう

1. 参加し敢行すること……………貴クラブにおいて

すべてのロータリアンは、何か所属クラブのためになることをすべきであります。各会員は、地域社会の指導的人物の一人を、クラブの会員として推薦することによって、ロータリーを分かち合うよう努力すること。

2. 参加し敢行すること……………職業を通じて

ロータリーの綱領を検討し、事業乃至専門的職業を通じて奉仕の理想を実践する方法を考究すること。

3. 参加し敢行すること……………地域社会づくりに

会員が直接に参加することのできる、1つの新しい有意義なクラブ計画を創案すること。地域社会が最も必要とする事項を知るため、年度の初期において法規励行、教育、青少年問題、レクリエーションその他の社会事業に関係ある有識者たちと協議すること。

4. 参加し敢行すること……………国際的接触を通じて

貴クラブと、海外のいずれかのロータリークラブとの提携を計ること。必要を満たす世界社会奉仕計画に参加し、また他の団体にも支援を求めること。

東ヶ崎 潔 R.I.会長

1. 引言部分 (Introduction) 主要介绍了本论文的研究背景、研究意义以及研究目标。在引言中，我们首先回顾了相关领域的研究现状，指出了当前研究中存在的不足和需要进一步探讨的问题。然后，我们明确提出了本文的研究内容和主要贡献。最后，我们简要介绍了本文的章节安排。

2. 文献综述 (Literature Review) 部分系统地梳理了国内外关于该领域的研究成果。通过对现有文献的深入分析，我们发现，虽然已有研究取得了一些进展，但在某些关键问题上仍存在争议或尚未得到充分解释。这为本研究提供了重要的理论支撑和现实依据。

3. 研究方法 (Methodology) 部分详细描述了本研究采用的理论框架、研究设计和数据收集过程。我们采用了定量与定性相结合的研究方法，通过问卷调查、访谈和实验等多种手段获取数据。同时，我们还介绍了所使用的统计软件和数据分析方法，以确保研究的科学性和严谨性。

4. 研究结果 (Results) 部分展示了本研究的主要发现。通过对数据的深入分析，我们发现，研究假设得到了部分支持。具体来说，在控制变量的影响下，自变量与因变量之间存在显著的正相关关系。此外，我们还发现了一些新的现象和规律，为后续研究提供了有益的启示。

5. 讨论 (Discussion) 部分对研究结果进行了深入的分析和解释。我们探讨了研究结果的理论意义和实践价值，并结合相关理论进行了对比分析。同时，我们也指出了研究的局限性和未来研究方向，为学术界和相关领域的实践者提供参考。

6. 结论 (Conclusion) 部分总结了本研究的主要结论。我们认为，本研究在一定程度上验证了研究假设，揭示了自变量与因变量之间的内在联系。同时，我们也认识到研究仍存在一些不足之处，需要在未来的研究中加以完善。

目 次

クラブアッセンブリープログラム	1 頁
役員並びに委員名簿	2
会長報告	3
概況報告	4
会計報告	5
クラブサービス報告	5
出席奨励委員会報告	6
職業分類委員会報告	8
会員選考委員会報告	8
会員推薦委員会報告	9
プログラム委員会報告	9
広報委員会報告	11
親睦委員会報告	12
ロータリー情報委員会報告	13
会報、雑誌委員会報告	13
S. A. A 報告	14
職業奉仕委員会報告	14
社会奉仕委員会報告	15
青少年奉仕委員会報告	16
国際奉仕委員会報告	17

附 表

昭和43年度予算書

会 員 名 簿

職 業 分 類 一 覧 表 (別 紙)

クラブアツセンブリープログラム

1968.12.11

於 鶴 鳴 館

16:00~16:01	開 会 の 辞	副 会 長	佐 伯 延次郎
16:01~16:04	ロータリーソング(奉仕の理想)斉唱		
16:04~16:10	歓迎の辞及びガバナー 分区代理紹介	会 長	鮫 島 志芽太
16:10~16:15	ガバナー挨拶	ガバナー	大 津 篤 造
16:15~16:25	会 員 自 己 紹 介		
16:25~	会 長 報 告	会 長	鮫 島 志芽太
	概 況 報 告	幹 事	柴 山 一 雄
	会 計 報 告	会 計	岡 山 栄
	クラブサービス報告	会 務 担 当	安 楽 慶一郎
	出席奨励委員会報告	委 員 長	川 路 清 高
	職業分類委員会報告	"	林 幸 光
	会員選考委員会報告	"	名 越 時 秀
	会員推薦委員会報告	"	小 山 幸 義
	プログラム委員会報告	"	新 福 栄 熊
	広報委員会報告	"	牧 田 健 二
	親睦委員会報告	"	浜 田 馨
	ロータリー情報委員会報告	"	衛 藤 右三郎
	会報・雑誌委員会報告	"	川 村 洋
	S.A.A 報 告	S.A.A	幸 泉 芳 良
	職業奉仕委員会報告	委 員 長	高 田 光 義
	社会奉仕委員会報告	"	岡 元 健一郎
	青少年奉仕委員会報告	"	田 平 礼 章
	国際奉仕委員会報告	"	久保田 彦 穂
	講 評	ガバナー	大 津 篤 造
18:00	閉 会 の 辞	幹 事	柴 山 一 雄
	懇 談 食 事		
	ロータリーソング(手に手つないで)斉唱		

Table 1. Summary of the data collected.

Year	Month	Day	Time	Location	Species	Count
1980	Jan	15	08:00	Forest	1	1
1980	Jan	15	09:00	Forest	2	2
1980	Jan	15	10:00	Forest	3	3
1980	Jan	15	11:00	Forest	4	4
1980	Jan	15	12:00	Forest	5	5
1980	Jan	15	13:00	Forest	6	6
1980	Jan	15	14:00	Forest	7	7
1980	Jan	15	15:00	Forest	8	8
1980	Jan	15	16:00	Forest	9	9
1980	Jan	15	17:00	Forest	10	10
1980	Jan	15	18:00	Forest	11	11
1980	Jan	15	19:00	Forest	12	12
1980	Jan	15	20:00	Forest	13	13
1980	Jan	15	21:00	Forest	14	14
1980	Jan	15	22:00	Forest	15	15
1980	Jan	15	23:00	Forest	16	16
1980	Jan	15	00:00	Forest	17	17
1980	Jan	15	01:00	Forest	18	18
1980	Jan	15	02:00	Forest	19	19
1980	Jan	15	03:00	Forest	20	20
1980	Jan	15	04:00	Forest	21	21
1980	Jan	15	05:00	Forest	22	22
1980	Jan	15	06:00	Forest	23	23
1980	Jan	15	07:00	Forest	24	24
1980	Jan	15	08:00	Forest	25	25
1980	Jan	15	09:00	Forest	26	26
1980	Jan	15	10:00	Forest	27	27
1980	Jan	15	11:00	Forest	28	28
1980	Jan	15	12:00	Forest	29	29
1980	Jan	15	13:00	Forest	30	30
1980	Jan	15	14:00	Forest	31	31
1980	Jan	15	15:00	Forest	32	32
1980	Jan	15	16:00	Forest	33	33
1980	Jan	15	17:00	Forest	34	34
1980	Jan	15	18:00	Forest	35	35
1980	Jan	15	19:00	Forest	36	36
1980	Jan	15	20:00	Forest	37	37
1980	Jan	15	21:00	Forest	38	38
1980	Jan	15	22:00	Forest	39	39
1980	Jan	15	23:00	Forest	40	40
1980	Jan	15	00:00	Forest	41	41
1980	Jan	15	01:00	Forest	42	42
1980	Jan	15	02:00	Forest	43	43
1980	Jan	15	03:00	Forest	44	44
1980	Jan	15	04:00	Forest	45	45
1980	Jan	15	05:00	Forest	46	46
1980	Jan	15	06:00	Forest	47	47
1980	Jan	15	07:00	Forest	48	48
1980	Jan	15	08:00	Forest	49	49
1980	Jan	15	09:00	Forest	50	50
1980	Jan	15	10:00	Forest	51	51
1980	Jan	15	11:00	Forest	52	52
1980	Jan	15	12:00	Forest	53	53
1980	Jan	15	13:00	Forest	54	54
1980	Jan	15	14:00	Forest	55	55
1980	Jan	15	15:00	Forest	56	56
1980	Jan	15	16:00	Forest	57	57
1980	Jan	15	17:00	Forest	58	58
1980	Jan	15	18:00	Forest	59	59
1980	Jan	15	19:00	Forest	60	60
1980	Jan	15	20:00	Forest	61	61
1980	Jan	15	21:00	Forest	62	62
1980	Jan	15	22:00	Forest	63	63
1980	Jan	15	23:00	Forest	64	64
1980	Jan	15	00:00	Forest	65	65
1980	Jan	15	01:00	Forest	66	66
1980	Jan	15	02:00	Forest	67	67
1980	Jan	15	03:00	Forest	68	68
1980	Jan	15	04:00	Forest	69	69
1980	Jan	15	05:00	Forest	70	70
1980	Jan	15	06:00	Forest	71	71
1980	Jan	15	07:00	Forest	72	72
1980	Jan	15	08:00	Forest	73	73
1980	Jan	15	09:00	Forest	74	74
1980	Jan	15	10:00	Forest	75	75
1980	Jan	15	11:00	Forest	76	76
1980	Jan	15	12:00	Forest	77	77
1980	Jan	15	13:00	Forest	78	78
1980	Jan	15	14:00	Forest	79	79
1980	Jan	15	15:00	Forest	80	80
1980	Jan	15	16:00	Forest	81	81
1980	Jan	15	17:00	Forest	82	82
1980	Jan	15	18:00	Forest	83	83
1980	Jan	15	19:00	Forest	84	84
1980	Jan	15	20:00	Forest	85	85
1980	Jan	15	21:00	Forest	86	86
1980	Jan	15	22:00	Forest	87	87
1980	Jan	15	23:00	Forest	88	88
1980	Jan	15	00:00	Forest	89	89
1980	Jan	15	01:00	Forest	90	90
1980	Jan	15	02:00	Forest	91	91
1980	Jan	15	03:00	Forest	92	92
1980	Jan	15	04:00	Forest	93	93
1980	Jan	15	05:00	Forest	94	94
1980	Jan	15	06:00	Forest	95	95
1980	Jan	15	07:00	Forest	96	96
1980	Jan	15	08:00	Forest	97	97
1980	Jan	15	09:00	Forest	98	98
1980	Jan	15	10:00	Forest	99	99
1980	Jan	15	11:00	Forest	100	100

Continued on next page

Table 2. Summary of the data collected.

Table 3. Summary of the data collected.

役員・委員名簿

1968-7~1969-6

会	長(理事)	餃	島	志	芽	太
副	会	長	(")	佐
幹	事	柴	山	一	雄	
副	幹	高	井	敏	治	
理	事	安	楽	慶	一	郎
	"	高	田	光	義	
	"	岡	元	健	一	郎
	"	田	平	礼	章	
	"	久	保	田	彦	穂
会	計	岡	山			栄
S.A.A		幸	泉	芳	良	
副S.A.A		光	吉	正	昭	

会務担当 安楽慶一郎

出席奨励	◎川路清高	○神山光政	・黒木長太郎	・池田 広
職業分類	◎林幸光	○河井時義	・高綱博明	・森川盛満
会員選考	◎名越時秀	○土橋英夫	・島津忠丸	
会員推薦	◎小山幸義	○名越時秀	・林幸光	
プログラム	◎新福栄熊	○福田敏之	・小山幸義	・池田 稔
広報	◎牧田健二	○塘 一郎	・桜美四郎	・小池鉄太郎
親睦	◎浜田 馨	○藤安辰造	・久保政次	・増竹成紀
			・外西寿彦	・福田 稜
ロータリー情報	◎衛藤右三郎	○倉園清市	・西郷隆永	
会報・雑誌	◎川村 洋	○徳田 基	・川上鉄太郎	
職業奉仕	◎高田光義	○米倉秀雄	・栗川久雄	・高 義朗
社会奉仕	◎岡元健一郎	○岩元健吉	・木原 良	・下野隆三
青少年奉仕 インターアクト	◎田平礼章	○春山 ジャステン	・若松新一	・桜美義明
国際奉仕	◎久保田彦穂	○岩田太一	・岩元正二	・中村善治
ロータリー賞推薦	◎佐伯延次郎	○島津忠丸	・牧田健二	・川村 洋
			・岡元健一郎	・福田敏之

会 長 報 告

会 長 鮫 島 志 芽 太

大津ガバナー、吉田分区代理をお迎えして、373区として第一回のガバナー公式訪問に当り、ロータリー活動の実践について全員協議会を開くことが出来ますことを会員皆様とともに喜びたいと存じます。

当クラブも六年間の経験を得て、すでに加治木クラブの結成によりロータリーの地区拡大を実践し、県下の先がけとなったインターアクトの実績も全国に注目され、また年次大会等には幾人かのリーダーを出すなど、順調な発展をとげて参りました。

新年度になりましたからは、新入会員13名が加入し、お互いにロータリーを分け合うことになりました。この間2名の退会を見ましたが、会員数はこのクラブの一応の理想的人容とされた55名になりました。これで私が去る7月就任当初にかかげました新年度方針の大部分が実行されたわけであります。私は感激をもって会員皆様の御協力に御礼申し上げます。

新年度方針の第二番目、親睦・友愛・心やすさ・ユーモア・協力一致というクラブの伝統的雰囲気をつくること、これも100%出席、財団寄付200%増などの実績や、例会の盛会さが示しておりますように、その目的を達成しつつあると思います。

ここで本年度方針の第三番目に加えたい項目があります。それはクラブでの私たちの役目を再認識することによって、地区年次大会など各種上級会合に対する会員の出席数を高めたいということでもあります。これは東ヶ崎R、I会長の、いわゆる「参加し敢行する」ことの意義を体得することにもなると存じます。皆様とともに、このことを下半期の努力目標として何らかの工夫をこらしめよう。会員皆様の一層の御助力をお願いいたします。

最後に、きょうの協議が意義深く進行されることを望みます。

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

Page 10

Page 10

概 況 報 告

幹 事 柴 山 一 雄

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 創 立 年 月 日 | 昭 和 3 8 年 3 月 2 3 日 |
| 2. 承 認 年 月 日 | 昭 和 3 8 年 6 月 2 7 日 |
| 3. ナヤターメンバー | 2 5 名 (内 現 会 員 1 6 名) |
| 4. 本 年 度 当 初 会 員 数 | 4 4 名 |
| 5. 現 在 会 員 数 | 入 会 者 1 3 名 退 会 者 2 名
正 会 員 5 1 名 ア デ ィ シ ョ ナ ル 正 会 員 1 名
シニア・アクラブ会員 3 名 計 5 5 名 |
| 6. 平 均 年 令 | 5 3 才 最 高 8 1 才 最 低 3 1 才
3 0 才 台 7 名 4 0 才 台 1 2 名
5 0 才 台 2 1 名 6 0 才 台 1 3 名
7 0 才 台 1 名 8 0 才 台 1 名 |
| 7. 出 席 率 | 9 9 . 9 2 % (4 2 . 1 2 ~ 4 3 . 1 1) |
| 8. 予 算 | 末 尾 の 通 り |
| 9. 入 会 金 | 1 5 . 0 0 0 円 |
| 10. 年 会 費 | 4 2 . 0 0 0 円 |
| 11. ビジター会費 | 3 5 0 円 |
| 12. 会 報 | 週 報 毎 週 発 行 |
| 13. ロータリアン誌 | 5 名 購 読 |
| 14. クラブアツセンブリー | 4 回 (7 月 ~ 1 1 月) |
| 15. クラブフォーラム | 1 回 (") |
| 16. 炉 辺 会 合 | 委 員 会 毎 に 1 回 開 催 |
| 17. 理 事 会 | 定 時 理 事 会 毎 月 第 2 週 例 会 後 開 催
臨 時 理 事 会 必 要 に 応 じ 適 時 開 催 |
| 18. 県下R.C会長幹事会 | 本 年 度 よ り 年 2 回 輪 番 で 開 催 ,
お 互 い に 意 見 の 交 換 を 行 な っ て い る。 |

1941
1942
1943
1944
1945
1946
1947
1948
1949
1950
1951
1952
1953
1954
1955
1956
1957
1958
1959
1960
1961
1962
1963
1964
1965
1966
1967
1968
1969
1970
1971
1972
1973
1974
1975
1976
1977
1978
1979
1980
1981
1982
1983
1984
1985
1986
1987
1988
1989
1990
1991
1992
1993
1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024
2025

会 計 報 告

会 計 岡 山 栄

基本方針

すべての財産と収支を常に明らかにし、クラブ活動が円滑に行われる様努力したい。

業 績

1. 毎月の収支は予算と対比した収支表を作成して理事会に提供している。
2. 本年度の予算は別紙の通りである。

計 画

新入会員の増加で当初予算より収入が増加したのでより活発な活動が出来るような予算の更正を考えたい。

ク ラ ブ サ ー ビ ス 報 告

会 務 担 当 安 楽 慶 一 郎

基本方針

1. 会長の特に強調せられた方針の推進
 - (1) 会員の増勢
 - (2) 友愛を高めること
2. 年度計画の策定
3. 円滑な会務の運営

業 績

会長、幹事並びに各委員会の積極的活動によって、それぞれ目標を達成しつつあり、ケースバイケースの調整だけで会務は円滑に進行しているので特に連絡会議は実施しなかった。

1. 会長方針の推進
 - (1) 会員の増勢は11月に目標の55名に達した。
 - (2) 友愛を高めることについては各委員会にケースバイケースの調整を行っている。
2. 年度計画は7月末セットを終った。
3. 会員推薦委員会を特設して会員の増勢に成功した。

計 画

- 1. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 2. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 3. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 4. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 5. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 6. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 7. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 8. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 9. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 10. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。

（注：以上证明均利用罗尔定理）

第 11 页

- 1. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 2. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 3. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 4. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 5. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 6. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 7. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 8. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 9. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。
- 10. 证明：若 $f(x)$ 在 $[a, b]$ 上连续，且 $f(a) = f(b)$ ，则存在 $\xi \in (a, b)$ 使得 $f'(\xi) = 0$ 。

（注：以上证明均利用罗尔定理）

第 12 页

丁度良い時に公式訪問があったので此処で考えを新たにして円滑な会務の運営に当りたい。
今後について特に挙げると

1. 会長方針の友愛を深めることに更に努力をしたい。
2. 年次大会等に出席を促進する方法をクラブ全部の問題として考えて、出席奨励委員会を支援したい。

出席奨励委員会報告

委員長 川路 清 高

委員 神 山 光 政

” 黒 木 長 太 郎

” 池 田 広

基本方針

出席率をさらに高めて、地区ベストテン以内の成績を保持すること。

業 績

今年も出席率は地区内で第1位を得ている。

メイクアップを滞り勝ちの会員には直接、或は電話等にて補充してもらいよう努めた。

計 画

新入会員に、ロータリーの意義はまず出席することにあるということ、即ち、出席することによって親睦を増し、ロータリーに興味を持つようになることを情報委員を通じて徹底させたい。

メイクアップの忘却習慣性会員には絶えず注意のベルを鳴らすこと。

The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records. It states that proper record-keeping is essential for the efficient operation of any organization. This includes tracking financial transactions, personnel files, and operational data.

The second part of the document outlines the various methods used to collect and analyze data. These methods include surveys, interviews, and focus groups. Each method has its own strengths and weaknesses, and the choice of method depends on the specific needs of the study.

The third part of the document describes the process of data analysis. This involves organizing the data into a structured format, identifying patterns and trends, and drawing conclusions based on the findings. It is a complex task that requires a high level of attention to detail and statistical knowledge.

Method	Advantages	Disadvantages
Surveys	Wide reach, easy to administer	Low response rate, limited depth
Interviews	High depth, flexibility	Time-consuming, subject bias
Focus Groups	Rich insights, interactive	Group dynamics, limited representativeness

CONCLUSION

In conclusion, the research process is a continuous cycle of planning, data collection, analysis, and interpretation. It is essential to approach each step with care and precision to ensure the validity and reliability of the findings. The results of this study provide valuable insights into the challenges faced by organizations in the current market environment.

Further research is needed to explore the long-term implications of these findings and to develop effective strategies to address the identified issues. The authors hope that this study will contribute to the ongoing discourse on organizational management and performance.

例会出席状況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	マークアップ	出席訂正率	ゲスト	ビジター
269	43. 7. 4	44	36	8	81.82	8	100	0	15
270	11	45	36	9	80.00	9	100	1	18
271	18	45	35	10	77.78	10	100	2	15
272	25	45	33	12	73.33	12	100	2	21
273	8. 1	45	34	11	75.56	11	100	1	19
274	8	45	32	13	71.11	13	100	0	16
275	22	46	35	11	76.09	11	100	1	29
276	29	46	34	12	73.91	12	100	0	30
277	9. 5	46	38	8	82.61	8	100	4	32
278	12	46	35	11	76.09	11	100	0	19
279	19	46	37	9	80.43	9	100	1	24
280	26	46	36	10	78.26	10	100	0	15
281	10. 5	48	36	12	75.00	12	100	0	0
282	17	50	38	12	76.00	12	100	2	24
283	24	50	34	16	68.00	16	100	0	24
284	31	50	44	6	88.00	6	100	2	21
285	11. 7	50	38	12	76.00	12	100	1	17
286	14	53	40	13	75.47	13	100	0	21
287	21	54	36	18	66.67	18	100	0	19
288	28	54	39	15	72.22	15	100	1	18
20回	計	954	726	228	1524.35	228	2000	18	397
	平均	47	36	11	76.21	11	100	1	20

Year	Month	Day	Time	Location	Temperature	Humidity	Wind	Clouds	Notes
1901	Jan	1	10:00	Station	50	70	Light	Partly	Clear
1901	Jan	2	10:00	Station	52	72	Light	Partly	Clear
1901	Jan	3	10:00	Station	54	74	Light	Partly	Clear
1901	Jan	4	10:00	Station	56	76	Light	Partly	Clear
1901	Jan	5	10:00	Station	58	78	Light	Partly	Clear
1901	Jan	6	10:00	Station	60	80	Light	Partly	Clear
1901	Jan	7	10:00	Station	62	82	Light	Partly	Clear
1901	Jan	8	10:00	Station	64	84	Light	Partly	Clear
1901	Jan	9	10:00	Station	66	86	Light	Partly	Clear
1901	Jan	10	10:00	Station	68	88	Light	Partly	Clear
1901	Jan	11	10:00	Station	70	90	Light	Partly	Clear
1901	Jan	12	10:00	Station	72	92	Light	Partly	Clear
1901	Jan	13	10:00	Station	74	94	Light	Partly	Clear
1901	Jan	14	10:00	Station	76	96	Light	Partly	Clear
1901	Jan	15	10:00	Station	78	98	Light	Partly	Clear
1901	Jan	16	10:00	Station	80	100	Light	Partly	Clear
1901	Jan	17	10:00	Station	82	102	Light	Partly	Clear
1901	Jan	18	10:00	Station	84	104	Light	Partly	Clear
1901	Jan	19	10:00	Station	86	106	Light	Partly	Clear
1901	Jan	20	10:00	Station	88	108	Light	Partly	Clear
1901	Jan	21	10:00	Station	90	110	Light	Partly	Clear
1901	Jan	22	10:00	Station	92	112	Light	Partly	Clear
1901	Jan	23	10:00	Station	94	114	Light	Partly	Clear
1901	Jan	24	10:00	Station	96	116	Light	Partly	Clear
1901	Jan	25	10:00	Station	98	118	Light	Partly	Clear
1901	Jan	26	10:00	Station	100	120	Light	Partly	Clear
1901	Jan	27	10:00	Station	102	122	Light	Partly	Clear
1901	Jan	28	10:00	Station	104	124	Light	Partly	Clear
1901	Jan	29	10:00	Station	106	126	Light	Partly	Clear
1901	Jan	30	10:00	Station	108	128	Light	Partly	Clear
1901	Jan	31	10:00	Station	110	130	Light	Partly	Clear

Station Report
 1901

職業分類委員会報告

委員長	林	幸	光
委員	河井	時	義
”	高網	博	明
”	森川	盛	満

基本方針

地域内職業の実情に合う様な職業分類一覧表を作成して会員に配布し、クラブ拡大の会長方針に沿い、会員推薦委員会をして新会員の推薦を容易ならしめるよう、未充填部門を明示するようにした。

業績

委員会の開催

職業分類表の作成

計画

1. 本年度既に13名の新会員の加入をみたが更に会員の増加を推進したい。
2. 職業分類の再検討を行い度い。

会員選考委員会報告

委員長	名	越	時	秀
委員	土	橋	英	夫
”	島	津	忠	丸

基本方針

1. 他の委員会就中職業分類委員会との連絡を密にし、クラブの充填及び未充填職業分類の一覧表を検討し、且つ開放された職業分類を充填するよう適当な人物を理事会に推薦する。
2. 会員の選考に当っては情実を排し、厳正を旨とし、その人と成りに重点を置いて個人の品性と出席可能性を重視する。
3. そして調査判定の結果を理事会に報告する。

業績

Faint, illegible text at the top of the page, possibly a header or introductory paragraph.

Vertical text block, possibly a list or a specific section header.

Section header or title in the middle of the page.

Main body of faint, illegible text, likely the primary content of the document.

Vertical text block at the bottom, possibly a signature or a concluding note.

1. 年度始めに年間会員増加目標10パーセント以上を計画したので上記基本方針に従い理事会に適当な人物を推薦した結果、現在までに13名の新入会員増加を見た。

計 画

1. 未充填職業分類については更に検討したい。

会 員 推 薦 委 員 会 報 告

委員長 小 山 幸 義
委 員 名 越 時 秀
" 林 幸 光

基本方針

常にクラブの充填及び未充填職業分類一覧表を検討し、且つ開放された職業分類を充填するよう進んで理事会に適格な人物を推薦するため積極的に行動する。

業 績

今期半ばに創設され、まだ日も浅いが、既に13名の新会員に入会して戴いた事は本委員会の活動も力があつた様に思います。

地域枠の問題が、事業所々在地のみならず、住居の方迄広義に適用してもらえるようになったので、今後、より一層活発に活動する事ができると思います。

プ ロ グ ラ ム 委 員 会 報 告

委員長 新 福 栄 熊
委 員 福 田 敏 之
" 小 山 幸 義
" 池 田 稔

基本方針

奉仕の精神に則り、クラブの精神を織りこんで、全員が喜んできくようなプログラム編成に努力する。

内容はバランスとバラエティーを保ち、品格、有益、新和感、ユーモアのあるものとする。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHYSICS DEPARTMENT

PHYSICS 439 - QUANTUM MECHANICS

LECTURE 10: THE HARMONIC OSCILLATOR

1. The harmonic oscillator is a system with a potential energy function $V(x) = \frac{1}{2}kx^2$. The Hamiltonian is $H = \frac{p^2}{2m} + \frac{1}{2}kx^2$. The energy eigenvalues are $E_n = \hbar\omega \left(n + \frac{1}{2}\right)$, where $\omega = \sqrt{k/m}$. The energy levels are equally spaced.

2. The wavefunctions are given by $\psi_n(x) = N_n H_n(\alpha x) e^{-\alpha^2 x^2/2}$, where $N_n = \frac{1}{\sqrt{2^n n!}} \left(\frac{\alpha}{\pi}\right)^{1/4}$ and $\alpha = \sqrt{mk/\hbar^2}$. The ground state is $\psi_0(x) = \left(\frac{\alpha}{\pi}\right)^{1/4} e^{-\alpha^2 x^2/2}$.

3. The expectation values of position and momentum are $\langle x \rangle = 0$ and $\langle p \rangle = 0$ for all states. The uncertainty in position is $\Delta x = \sqrt{\langle x^2 \rangle - \langle x \rangle^2}$. For the ground state, $\Delta x = \sqrt{\frac{\hbar}{2m\omega}}$. The uncertainty in momentum is $\Delta p = \sqrt{\langle p^2 \rangle - \langle p \rangle^2}$. For the ground state, $\Delta p = \sqrt{\frac{\hbar m \omega}{2}}$. The product of uncertainties is $\Delta x \Delta p = \frac{\hbar}{2}$, which is the minimum possible value.

4. The probability density $|\psi_n(x)|^2$ shows that the particle is most likely to be found near the origin for the ground state and near the turning points for higher states.

5. The harmonic oscillator is a special case of the more general harmonic potential. The energy levels are equally spaced, and the wavefunctions are orthogonal. The harmonic oscillator is a fundamental system in quantum mechanics.

このため、クラブの役員、各委員長、全員と密接な連絡を保ち卓話者の開発をはかる。

業 績

(1) 7月～11月28日までの実績は次の通りである。

- ゲストの卓話……………10回
- クラブアッセンブリー、会員卓話……………7回
- 映 画……………3回

(2) 会員との連絡をとって卓話者の開発をはかりつつある。

計 画

- (1) 例会の卓話はゲスト50%、会員30%、映画20%で進める。
- (2) 予定された例会より少くとも1ヶ月前には卓話者が決定できるように計画する。
- (3) 卓話者の紹介はプログラム委員が交替して行なうを原則とする。

卓 話 の 実 績

月 日	ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
	題 目	職 業	氏 名	題 目	氏 名
43. 7. 4				新会長幹事挨拶 新委員会活動方針発表(各委員長)	鮫島、柴山
11	車えびの養殖と将来	鹿泉水産試験場長	茂野 邦彦		
18	最近の電信電話事情について	鹿電話局長	渡辺 新吾		
25	婦 団 検 捗	交換学生	デヴィッド・クリストファー・クリステン・イリー		
8. 1	鹿児島市の街路樹	鹿大農学部教授	初島 住彦		
8	(映画) ある陶磁器の系譜	南日本放送提供			
22	人 権 に つ い て	鹿地方法務局長	堤 武四郎		
29				リーダーシップフォーラム出席報告 例会後炉辺会合	鮫島、高田 田平
9. 5	気象災害について	鹿地方気象台長	出淵 重雄		
12				クラブアッセンブリー	
19	(映画) 都市決断の時	南日本放送提供			
26				婦人科医の手帳から (スライド映写)	外西寿彦
10. 5				家族観月会(城山観光ホテル)	
17	労働力問題と所得政策	鹿経済大学教授	広崎 真八郎		

項目	金額	備註
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		
51		
52		
53		
54		
55		
56		
57		
58		
59		
60		
61		
62		
63		
64		
65		
66		
67		
68		
69		
70		
71		
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		
84		
85		
86		
87		
88		
89		
90		
91		
92		
93		
94		
95		
96		
97		
98		
99		
100		

附 錄

本報告之數據，係根據各項調查所得之結果，經整理分析後，所得之結論。其內容之詳盡，足以說明各項問題之現狀。茲將各項數據，分別列後，以供參考。

一、各項數據之整理

二、各項數據之分析

三、各項數據之結論

四、各項數據之建議

五、各項數據之附註

六、各項數據之參考文獻

七、各項數據之圖表

八、各項數據之表格

九、各項數據之說明

十、各項數據之總結

月 日	グ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
	題 目	職 業	氏 名	題 目	氏 名
10.24				地区大会出席報告	鮫島, 新福
31	鹿児島市のビジョン	鹿大助教授	吉野正治		
11.7	県庁と県民	鹿県県民課長	松林康文		
14				(スライド)国際理解のための財団クラブアッセンブリー	
21					
28	心身障害児についで	鹿大付属病院小児科部長	寺 勝 保		

広 報 委 員 会 報 告

委員長 牧 田 健 二
 委 員 塘 一 郎
 " 桜 美 四 郎
 " 小 池 鉄 太 郎

基本方針

ロータリー精神とクラブ活動の情報を、一般の人々に提供し、ロータリーに対する社会の認識と理解を深めるように努める。それには、

1. 会員各自にロータリーの情報を十分に把握してもらいと共に、更にロータリー情報、プログラム、会報雑誌の各委員会と密に連絡し、ロータリー活動状況の伝達に努める。
2. 地域社会への伝達については、新聞、ラジオ、テレビなどのマスコミ関係に、当クラブの興味ある正確な情報を提供し、一般社会のロータリーに対する理解を深めることに努める。
3. 会員各自のロータリー精神に基く生活と活動が、最も有力な広報力であることを自覚してもらおう。

業 績

1. 年度の当初に、西ロータリークラブの構成メンバーと事業計画の大綱を、南日本新聞に掲載した。
2. その後クラブの活動、行事に関し、マスコミ関係に資料を提供し、たびたび新聞に報道された。

計 画

1. 本年度西ロータリー賞の受賞者を選考し、広報に努める。そのため7月末選考委員6名を決定した。
2. マスコミ関係者の例会出席をすすめる。
3. マスコミ関係者との座談会を実施する。
4. インターアクト活動の広報に努める。

親睦委員会報告

委員長	浜	田	馨
委員	藤	安	辰
"	久	保	政
"	増	竹	成
"	外	西	寿
"	福	田	稔

基本方針

親睦こそロータリーの原動力であるとの信念に徹し、S.A.Aと連絡を密にし会員並びに家族の親睦の機会を創るよう努力する。

業 績

1. 毎月第1例会日にその月の該当者に誕生祝、結婚祝の記念品を贈り、尚誕生者にはパースデーソングを歌い祝福した。
2. 10月5日午後6時より城山観光ホテル庭園に於て恒例の観月家族会を開催した。(参加者 会員38名 家族53名)

計 画

1. クリスマスパーティー、春のピクニックの家族会を計画している。
2. 会員を中心とするゴルフ会を開催し親睦をはかる。
3. クラブ対抗の諸行事に積極的に参加し、他クラブとの親睦をはかる。

1. 凡在本行存款...

2. 凡在本行存款...

3. 凡在本行存款...

4. 凡在本行存款...

5. 凡在本行存款...

6. 凡在本行存款...

7. 凡在本行存款...

8. 凡在本行存款...

9. 凡在本行存款...

10. 凡在本行存款...

附錄

1. 凡在本行存款...

2. 凡在本行存款...

3. 凡在本行存款...

4. 凡在本行存款...

ロータリー情報委員会報告

委員長 衛 藤 右三郎

委員 倉 園 清 市

” 西 郷 隆 永

基本方針

新入会員がロータリーを理解し、ロータリアンとしての責務を自覚するように助言する。しかし、情報活動は単に情報委員の責任においてのみ行われるべきものでなく、広く理事会、特にクラブ担当理事、会報編集者、プログラム委員等と緊密な連絡協力の下に情報活動をすすめていきたい。

業 績

1. 新入会員には、入会前にインフォメーションを行なっている。
2. ロータリーに関する文献、資料を整理して、会員の研修に準備する。

計 画

1. プログラム委員と連絡を密にし、例会で3分間情報を行なりよう努めたい。(これは年輩会員が交替で多年の貴重な体験と深い見識とを発表してもらうことによって、会員がその恩典を受けると共に他面年輩会員の研修を促すことにもなる)
2. ロータリーの友の中から参考となる記事を紹介し情報に資することとしたい。

会報・雑誌委員会報告

委員長 川 村 洋

委員 徳 田 基

” 川 上 鉄太郎

基本方針

会員と役員間、クラブと国際R.C及び会員相互間のよき伝達機関となるべく努力する。

1. クラブ活動の活発化を促す。
2. 週報の内容に魅力をもたせ充実をはかる。
3. 会員の出席向上、親睦をはかる。

1. 關於本會之組織及職權
 2. 關於本會之經費及財產
 3. 關於本會之會務及活動

本會之組織及職權如下：
 一、宗旨：本會以研究、推廣、普及科學為宗旨。
 二、組織：本會設理事會、監事會、秘書處、各專科委員會。
 三、經費：本會經費由會員會費、社會捐助、政府補助等項充之。
 四、財產：本會財產由理事會管理，不得挪作他用。

本會之會務及活動如下：
 一、定期舉行會員大會、理事會、監事會。
 二、定期出版科學叢刊、科學通訊。
 三、定期舉辦科學講座、科學展覽、科學競賽。

本會之經費及財產如下：
 一、經費：本會經費由會員會費、社會捐助、政府補助等項充之。
 二、財產：本會財產由理事會管理，不得挪作他用。

本會之會務及活動如下：
 一、定期舉行會員大會、理事會、監事會。
 二、定期出版科學叢刊、科學通訊。
 三、定期舉辦科學講座、科學展覽、科學競賽。

本會之經費及財產如下：
 一、經費：本會經費由會員會費、社會捐助、政府補助等項充之。
 二、財產：本會財產由理事會管理，不得挪作他用。

本會之會務及活動如下：
 一、定期舉行會員大會、理事會、監事會。
 二、定期出版科學叢刊、科學通訊。
 三、定期舉辦科學講座、科學展覽、科學競賽。

本會之經費及財產如下：
 一、經費：本會經費由會員會費、社會捐助、政府補助等項充之。
 二、財產：本會財產由理事會管理，不得挪作他用。

本會之會務及活動如下：
 一、定期舉行會員大會、理事會、監事會。
 二、定期出版科學叢刊、科學通訊。
 三、定期舉辦科學講座、科學展覽、科學競賽。

業 績

週報の発行

計 画

1. ロータリーの友ニュースによる「友」の主要記事紹介（「友」配布の例会を利用）
2. 各委員会及び会員のニュースを更に積極的に集める。
3. 週報に委員会の活動ニュース欄を設ける。

S · A · A 報 告

S . A . A 幸 泉 芳 良
副S . A . A 光 吉 正 昭

基本方針

当クラブの例会は和気あいあいたる雰囲気の中で秩序正しく、しかも能率的に進められてきており、ビジターの来訪の数も非常に多い。

これからも会員相互の親睦と理解の上に立って和やかな雰囲気をより以上に維持し盛り上げていきたい。

業 績

1. 友愛に満ちた例会を持つために早出し、会場の準備を終え気持ち良く来訪ロータリアン会員の方々を迎えている。
2. 親睦委員会と連絡を密にし、楽しいムードの漂う様に努力している。

計 画

更に会長、幹事、各委員会の連絡を密にし、会員皆様のお気付きの点等よくお伺いし明るく楽しい雰囲気づくりに努力を致したい。

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

委 員 長 高 田 光 義
委 員 米 倉 秀 雄
" 栗 川 久 雄
" 高 義 朗

一九五〇年
十二月
二十一日
星期日
第九〇九号

中華人民共和國憲法

（一九五四年九月二十日第一屆全國人民代表大會第二次會議通過）

（The following text is extremely faint and largely illegible due to the quality of the scan. It appears to be the opening articles of the 1954 Chinese Constitution, detailing the structure of the state, the role of the National People's Congress, and the fundamental rights and duties of citizens. The text is organized into numbered articles and sections, including the title and the date of promulgation.)

基本方針

ロータリー精神の基本の主要な一つは、各人の職業を通じて社会奉仕をすることであるということとを会員に深めることを基本態度として努力したい。

業 績

1. 43年8月23日熊本に於いて開催された373区リーダーシップフォーラムに出席した。続いて、翌週開催されたファイアサイドミーティングでその模様を報告して今後の活動方針についての会員の意見を承った。

計 画

1. 職場訪問の実施

クラブに諮り訪問する職場を決定して貰って定例的(年二回位)関係委員会と協同して職場を訪問して、ロータリー精神を拡げる活動をする。訪問の際その職場に四つのテストの額を贈る。

2. 優良職業人の表彰を例年通り実施する。

3. 高校を卒業して就職するグループに対して、職業人としてのありようについて意見交換をする機会をつくる。

年一回卒業期を前に行う。グループの選定はクラブに諮り関係委員会と共同して実行する。

社会奉仕委員会報告

委員長 岡 元 健一郎

委員 岩 元 健 吉

〃 木 原 良

〃 下 野 隆 三

基本方針

所属地域社会をよく知り、何が最も切実に要求されているかを発見するように努める。当クラブでこれに対処し得る可能性を検討して、やれば出来ることから実行してゆき、地域社会の改善向上に奉仕したい。この際クラブ内の関係諸委員会、社会の関係諸団体との連けい、協力についても十分に考慮したい。

業 績

1. 現在当委員会および理事会で検討して、当市の西地域の適当な箇所に防犯街燈を寄贈することになっている。

Faint, illegible text at the top of the page, possibly a header or introductory paragraph.

好字一林造紙有限公司

Faint, illegible text block in the middle of the page.

Faint, illegible text block in the middle of the page.

Faint, illegible text block in the middle of the page.

Faint, illegible text at the bottom of the page, possibly a footer or concluding paragraph.

2. プログラム委員会と連絡して地域内の福祉，公共，教育，教養，保健事業の実態を卓話のテーマに入れてもらうようにしている。
3. 年末助け合い運動の義援金を贈った。

計 画

1. 今年度内に他の関係委員会と相談して地域社会の向上に著しく貢献のあった人を選考して「ロータリー賞」を授与したい。その予算は本委員会予算でとってある。
2. 各種災害見舞，義援なども予算の範囲内で積極的にやりたい。

青少年奉仕委員会報告

委員長 田 平 礼 章

委 員 春 山 ジヤステン

" 若 松 新 一

" 桜 美 義 明

基本方針

青少年を正しく，明るく，健全に育成し活動せしめるよう，又不良化を防止するよう善導することに努力する。

業 績

1. ワンダーフォーゲルの鹿児島3 R . C . の当番クラブになり宿舍の設営及び運営に万全を期した。又明治100年を記念するため「明治維新と鹿児島」を寄贈した。
2. インターアクトクラブのえびのにおける県下の連絡協議会及び地区協議会に参加し合同キャンプした。

又国際理解増強の手段として「生きた英語会話」のレコードを寄贈した。

3. 近くの幼稚園でワンダーフォーゲルの臨時宿舍として世話になった錦城幼稚園の運動会に寄付をした。
4. 地区大会の青少年奉仕部門に柴山幹事がリーダーを務めた。

尚柴山幹事は姉妹クラブ鶴岡クラブの設立した鶴岡高専インターアクトクラブの発会式並びに353区インターアクト大会に出席した。

計 画

1. インターアクトクラブの充実，会員と春山夫妻による英語会話の会をもつ予定。又派遣学生も招待したいと考えている。
2. 「あなたの若人を知れ」の内容調査及びその発表。

Faint header text at the top of the page, possibly a title or page number.

Main body of faint, illegible text, appearing to be several lines of a letter or document.

Second section of faint, illegible text, possibly a signature or a specific section of the document.

Final section of faint, illegible text at the bottom of the page, possibly a footer or closing remarks.

国際奉仕委員会報告

委員長 久保田 彦 穂
委員 岩 田 太 一
" 岩 元 正 二
" 中 村 善 治

基本方針

- 1 日本を外国に理解してもらいと同時に2 われわれ自身がそれぞれの国、人間を理解すること。
- 3 以上の線にそって、当クラブとして実現可能と思われるものより、手をつけていくこと。

業 績

- 1 日米交換学生の世話。
- 2 留学生を折にふれ招待。
- 3 ロータリー財団週間中の例会日に「国際理解のための財団」のスライドを映写し、又財団へ寄附（1人1ドル）した。

計 画

- 1 日米交換学生の世話。
- 2 世界理解週間中、留学生を例会に招待するほかクリスマスパーティーにインターアクトも一緒に招待する。
- 3 鹿児島県の風物、ロータリー活動の状況を他クラブと共同でカラーズライドにおさめて、マツナクラブに贈り親善理解につとめる。
- 4 児童画などマツナクラブと交換する。

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

廣東省立第一中學
廣東省立第一中學
廣東省立第一中學
廣東省立第一中學

廣東省立第一中學
廣東省立第一中學

附 表

昭和 43 年度 予算書

会 員 名 簿

職業分類一覽表（別紙）

昭和43年度収支予算書

1968-7~1969-6

(収入の部)

費目	予算額	摘要
前年度繰越金	169869	
年会費	2100.000	21000円×50名×2期
雑誌代	66.000	660円×50名×2期
入会金	90.000	15000円×6名
ロータリー財団寄付金 (入会時)	21.600	3600円×6名
ビジター会食費	343.000	350円×980名
雑収入	17.000	預金利息外
合計	2807469	

(支出の部)

費目	予算額	摘要	
事務局関係	人件費	427.500	事務員給料, 夏期年末手当
	通信費	45.000	郵便料, 電話料等
	事務用品費	13.000	事務用品一切
	印刷費	20.000	公式訪問報告書等印刷代
	厚生福利費	20.000	健康保険料外
	旅費	10.000	諸車代
	図書費	7.000	新聞代外
	借室料	72.000	6,000円×12ヵ月
小計	614.500		
委員会関係	出席奨励	50.000	表彰記念品代
	会員選考	1.000	
	職業分類	6.000	職業分類表印刷代
	親睦	100.000	誕生祝, 結婚祝, ラッキー賞, 家族会補助外

...	...	100000	...
...	...	110000	...
...	...	120000	...
...	...	130000	...
...	...	140000	...
...	...	150000	...
...	...	160000	...
...	...	170000	...
...	...	180000	...
...	...	190000	...
...	...	200000	...
...	...	210000	...
...	...	220000	...
...	...	230000	...
...	...	240000	...
...	...	250000	...
...	...	260000	...
...	...	270000	...
...	...	280000	...
...	...	290000	...
...	...	300000	...

...	...	310000	...
...	...	320000	...
...	...	330000	...
...	...	340000	...
...	...	350000	...
...	...	360000	...
...	...	370000	...
...	...	380000	...
...	...	390000	...
...	...	400000	...
...	...	410000	...
...	...	420000	...
...	...	430000	...
...	...	440000	...
...	...	450000	...
...	...	460000	...
...	...	470000	...
...	...	480000	...
...	...	490000	...
...	...	500000	...

...

...

...

費 目		予 算 額	摘 要
委 員 会 関 係	プログラム	50.000	卓話謝礼
	ロータリー情報	20.000	カンパ月信 500円×10 ロータリー手帳代 文献代等
	広 報	5.000	
	会 報 , 雑 誌	120.000	週報用紙代, ロータリーの友代 (66.000円) 5周年記念誌代等
	職 業 奉 仕	30.000	優良職業人表彰 工場見学费外
	社 会 奉 仕	70.000	表彰関係, 災害見舞外
	青 少 年 奉 仕	90.000	ワンダーフォゲル負担金, インターアクト援助外
国 際 奉 仕	80.000	交換学生受入負担金, 万国博 ロータリー組織委費用 分担金 (5000円) 外	
	小 計	622.000	
国 際 ロ タ リ ー 関 係	人 頭 分 担 金	1195.20	1.080円×44名 1.440円×50名
	ロータリー財団寄付金	18.000	3.60円×50名
	ロータリー財団寄付金 (入会時)	21.600	3.600円×6名
	米山記念奨学寄付金	28.200	300円×44名 300円×50名
	小 計	1873.20	
地 区 関 係	地 区 大 会	55.000	分担金 1.000円×50名 参加拠出金 1.000円×5名
	地 区 協 議 会	50.000	登録料, 旅費, 宿泊費 (3名)
	リーダーシップフォーラム	30.000	" " " (3名)
	地 区 資 金	56.400	600円×44名 600円×50名
	地区国際青少年資金	18.800	200円×44名 200円×50名
	小 計	210.200	
そ の 他	会 議 費	50.000	会長, 幹事会登録料, 理事会, アッセンブリー補助外
	会 食 費	1,000.000	例会食事代
	雑 費	30.000	前会長, 幹事記念品代外
	備 品 費	30.000	
	小 計	1,110.000	
	予 備 費	63.449	
	合 計	2,807.469	

	21200	
	21300	
	21400	
	21500	
	21600	
	21700	
	21800	
	21900	
	22000	
	22100	
	22200	
	22300	
	22400	
	22500	
	22600	
	22700	
	22800	
	22900	
	23000	
	23100	
	23200	
	23300	
	23400	
	23500	
	23600	
	23700	
	23800	
	23900	
	24000	
	24100	
	24200	
	24300	
	24400	
	24500	
	24600	
	24700	
	24800	
	24900	
	25000	
	25100	
	25200	
	25300	
	25400	
	25500	
	25600	
	25700	
	25800	
	25900	
	26000	
	26100	
	26200	
	26300	
	26400	
	26500	
	26600	
	26700	
	26800	
	26900	
	27000	
	27100	
	27200	
	27300	
	27400	
	27500	
	27600	
	27700	
	27800	
	27900	
	28000	
	28100	
	28200	
	28300	
	28400	
	28500	
	28600	
	28700	
	28800	
	28900	
	29000	
	29100	
	29200	
	29300	
	29400	
	29500	
	29600	
	29700	
	29800	
	29900	
	30000	

基金特別負担金予算書

費 目	予 算 額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	136,637	
基 金 特 別 負 担 金	30,000	5,000円×6名(新会員)
雑 収 入	8,000	預金利息
合 計	174,637	

ニコニコ寄付予算書

費 目	予 算 額
ニコニコ寄付	120,000

会 員 名 簿

	氏 名	職 業 分 類	勤 務 先	自 宅
1 A	安 楽 慶一郎	焼 酎 製 造	安 楽 酒 造 協 代表取締役 宇宿町 246の1 県路農ビル内	高麗町 615
2 B	衛 藤 右三郎	建 築 設 計	衛 藤 建 築 設 計 事 務 所 所 長	西千石町 3の16 宇宿町 2536
3 F	福 田 敏 之	民 間 放 送	協南日本放送	常務取締役 高麗町 17 草牟田町 4195
4	福 田 稔	自 動 車 販 売	南九州三菱自動車販売協	取締役社長 照国町12の9 新屋敷町15の1 横小路ビル301
5	藤 安 辰 造	味 噌 製 造	藤 安 醸 造 協	取締役社長 住吉町6の15 住吉町6の20
6 H	林 幸 光	洋 楽	鹿児島短期大学	教 授 永吉町450 西田町58の6
7	浜 田 馨	酒 類 販 売	協 浜 田 酒 店	取締役社長 高麗町192 同 左
8	春 山 ジャステン	キリスト教(新教)	日 本 基 督 教 団 鹿 地 区	宣 教 師 上荒田町 137 同 左
9	外 西 寿 彦	産 婦 人 科 医 (アデインショナル)	鹿児島市立病院	産婦人科部長 加治屋町 20 宇宿町 1153の10
10 I	岩 元 健 吉	シニア・アクトブ (製 綿)	カクイわた協	取締役社長 郡元町 927 郡元町1172
11	岩 元 正 二	織 維 品 販 売	山形屋商事協	常務取締役 堀江町 8 高麗町 143
12	岩 田 太 一	和 菓 子 製 造	協 明 石 屋 菓 子 店	取締役社長 金生町 3 西千石町129
13	池 田 広	放 射 線 科 医	池田放射線診療所	医 師 上之園町 28 同 左
14	池 田 稔	食 品 加 工	池 田 製 菓 協	専務取締役 錦江町3の2 上荒田町108
15 K	河 井 時 義	外 科 医	河井外科医院	院 長 高麗町183 同 左
16	川 村 洋	百 貨 店	協 山 形 屋	常務取締役 金生町 3の1 下荒田町 2247
17	川 路 清 高	医 学 教 育	鹿児島大学医学部	教 授 城山町7の82 新照院町154
18	川 上 鉄 太郎	ホテル(日本式)	城山観光協	常務取締役 新照院町95 原良町1315

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

...

	氏名	職業分類	勤務先		自宅
19	黒木長太郎	シニア・アクトアップ (経済学教育)	鹿児島経済大学	学長	下福元町 8850 原良町 1529
20	久保政次	ゴム製品販売	備久保利商店	取締役社長	名山町1の4 大童町4の16
21	久保田彦穂	文芸			長田町146
22	倉園清市	信用金庫	鹿児島相互信用金庫	専務理事	泉町2の3 下荒田町72
23	栗川久雄	高等学校	県立鶴丸高等学校	校長	薬師町34 下荒田町 440
24	小山幸義	ホテル(洋式)	備鹿児島ホテル 鶴鳴館	取締役社長	城山町5の30 同左
25	小池鉄太郎	洋画	鹿児島大学教育学部	教授	上荒田町 1946 薬師町398
26	幸泉芳良	鉄鋼販売	幸泉交易(株)	専務取締役	泉町3の7 伊敷町63
27	神山光政	鉄道車輛修理	国鉄鹿児島工場	工場長	上荒田町800 郡元町24 唐湊国鉄宿舍
28	木原良	短期金融	富士銀行鹿支店	支店長	金生町7の25 天保山町106
29 M	牧田健二	内科医	牧田医院	院長	上本町2の5 同左
30	増竹成紀	外国為替銀行	備三井銀行鹿支店	支店長	金生町5の1 薬師町32
31	光吉正昭	請負業	小牧建設(株)	常務取締役	西千石町 2035 鴨池町471
32	森川盛満	ガレージ及び サービスステーション	備玉里自動車練習所	常務取締役	下伊敷町 29207 原良町1450
33 N	名越時秀	長期金融	備鹿児島銀行 武町支店	支店長	武町429 永吉町295
34	中村善治	セメント販売	備神田商店	専務取締役	住吉町1の3 薬師町1374
35 O	岡元健一郎	病院	鹿児島大学付属 病院	泌尿科部長	城山町8の3 城山町7の13
36	岡山栄	会計士	岡山公認会計士 事務所	所長	薬師町53 同左
37 S	西郷隆永	電気器具販売	南九州コンバー ター普及(株)	代表取締役	武町506 県医師会館内 鴨池町507

	氏名	職業分類	勤務先	住所
38	桜美四郎	シニア、アクナブ (瓦斯供給)	桜ビルディング(株)	取締役社長 武町415 上之園町37
39	桜美義明	雑貨販売	桜物産(株)	常務取締役 武町415 上之園町37
40	岐島志芽太	新聞発行	(株)南日本新聞社	専務取締役 易居町1の5 上荒田町62
41	佐伯延次郎	短期大学	鹿児島県立短期大学	学 長 下伊敷町104 清水町133
42	柴山一雄	歯科医	柴山歯科医院	院 長 山下町9の31 同左
43	島津忠丸	土木建築	新九州建設(株)	常務取締役 吉野町儀 9688 清水町 31の15
44	新福栄熊	自然科学	鹿児島経済大学	教 授 下福元町 8850 玉里町3465
45	下野隆三	近海々運	(株)共進組	総務部長 易居町 11の19 原良町3135
46 T	高井敏治	砂糖販売	(株)高井商店	専務取締役 泉町13の20 加治屋町 5の21
47	高田光義	石油販売	南国殖産(株)	常務取締役 武町431 南国日本生命ビル内 天保山町 88の3
48	高綱博明	生命保険	日本生命保険鹿支社	支社長 武町431 南国日本生命ビル内 谷山塩屋町 字下笹貫 1668の1
49	高 義明	絹織物製造	大島紬熱米工業(株)	専務取締役 鴨池町999 同左
50	田平礼章	整形外科医	田平整形外科病院	副院長 加治屋町 16の5 加治屋町 11の17
51	土橋英夫	産婦人科医	土橋病院	院 長 西田町10 西田町12
52	塘 一郎	工業教育	鹿児島大学工学部	教 授 鴨池町52 伊敷町1の2 伊敷栄門住宅 4号
53	徳田基	公証人	鹿児島公証人役場	公証人 山下町 17の12 照国町11の23
54 W	若松新一	澱粉製造	鹿児島物産化工(株)	総務部長 宇宿町185 郡元町1389
55 Y	米倉秀雄	公立病院	鹿児島市立病院	副院長 加治屋町 20の17 吉野町9688

Table with multiple columns, likely a header row for a list of items.

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50